



提供: 荻川写真クラブ

明けまして おめでと うございま す二〇二 五新春

広報
おぎかわ

2025. 1. 1 第213号
 発行者 荻川コミ協
 発行人 窪田吉衛
 電話 (24) 5776

荻川の人口	世帯数	7,227戸
	人口	18,050人
		(前年10月比-71人)
	男性	8,769人
	女性	9,281人
		(2024年10月末日現在)

- 荻川を1つの隣組に
- 荻川総ボランティア
- 寝たきりゼロの健康のまちづくり

新年のご挨拶



荻川コミュニティ振興協議会
会長 窪田 吉衛

新年おめでとございます。

2020年1月15日に国内で新型コロナウイルスが確認されて5年になり、ようやく落ち着いた様な気がします。

地域のサークル活動は一段と盛んになり、また、荻川まつり等のイベントには大勢の方々が関心を持って集まり、以前のような活気を帯びてまいりました。

年齢を問わず参加できる地域活動やサークル活動をはじめ、イベントへの参加を通しての仲間づくり等、無理のない日常生活をしながらの心身の健康作りには良いイメージではないでしょうか。

新しい年も荻川コミ協の三大スローガン「荻川はひとつの隣組に」「寝たきりゼロの健康のまちづくり」「荻川総ボランティア」を基に、自治会長 町内会長等と意見交換をしながら、活き活きとしたみんなの地域づくりを目指していきたいと思っております。

新年のご挨拶



荻川地区協議会
会長 田中 雄二

明けましておめでとございます。

昨年は希な天候不順で猛暑に悩まされ決して良い年とは言えませんでした。残念ながら世界中で紛争がおこり不安の日々が繰り返され報道され大戦争にもなり兼ねない様相です。

幸い我が国には及んでいませんが、戦争という言葉に慣らされ本来の意味が理解されていないのが現実です。「戦争」とは争いを戦いにより収めるという手段のことで武器を供与するなど「もつての外」です。人は話し合いにより諒解終息することが出来る英知を今こそ發揮するべきで平和な世界を構築する責任があると思っております。

新年から関心できない挨拶となりましたが、お許しください。荻川地区において芸能祭、荻川まつり等が行われ「未来ビジョン」が励行しつつあり、その中に人間教育という理念が含まれていることは大変意義のあることと喜んでおります。

第四十二回荻川地区文化祭開催

11月3日(日)・4日(月)の二日間「荻川地区文化祭」が開催されました。

展示会場である体育館には、コミセンを中心に制作活動されている団体の作品をはじめ、第二中学校、介護施設、こども園からの出展作品や賛助作品、一般応募作品など多くの力作が展示されるとともに鉄道模型走行会が行われました。

本館では、第二中学校茶道部のお茶席会、分館では、音楽ライブなど恒例のイベントが開催され、多くの皆様に楽しんでいただきました。

来場者の反応は概ね良好で、コミセンの駐車場が満車になることも多々ありました。



今年の準備及び後片付けは文化教養部員、その他コミセン関係者に加えて、出展者の協力を得て行ったことから、スムーズに行うことができました。休日返上で準備等いただいた皆様には心から感謝いたします。今後も荻川地区住民一体となり、楽しみ喜んでいただける文化祭を作り上げていきたいと思っております。(文化教養部)



第79回荻川地区 秋季バレーボール大会

11月24日(日)荻川コミセン体育館を会場にて第79回荻川地区秋季バレーボール大会が開催されました。
今回は前回以上の10チームの参加でA・B・Cブロックに分けてリーグ戦で試合を行いました。

春の大会に続き大勢の参加者で大変盛り上がり、昼休みを設けて楽しい昼食タイムもあり3時頃には無事閉会式を終えました。
成績は、Aブロック優勝 萩島チーム、準優勝 ニュージーンズ(車場)、Bブロック優勝 グレーブズ、準優勝 CENTRAL ADULTSでした。

第74回荻川地区 親善バドミントン大会

11月10日(日)荻川コミセン体育館を会場にて第74回荻川地区親善バドミントン大会が開催されました。
今回は参加者56名で競技種目は男子A・B・Cと女子の4種目となり、参加チーム数により、男子Aはリーグ戦、その他は2ブロックに分けた予選リーグ後に順位決定戦の方式で行われました。

開会式直後の試合から決勝戦を思わせるハイレベルな戦いとなり、白熱した試合が続きましたが最後まで怪我無く夕方には無事大会を終えることが出来ました。
成績は、男子A優勝 遠山・福田組、準優勝 岩谷・武田組、男子B優勝 佐々木・佐々木組、準優勝 島垣・佐久間組、男子C優勝 山倉・遠海組、準優勝 稲垣・稲垣組、女子優勝 大滝・岡部組、準優勝 稲垣・佐藤組でした。



第48回荻川地区 親善卓球大会

10月27日(日)荻川コミセン体育館を会場にて第48回荻川地区親善卓球大会が開催されました。
今回も中学生の参加は無いながら男女25名の参加となり、予選リーグ、決勝トーナメント戦の形式で最後まで楽しみながら試

合を行いました。
怪我も無く、お昼過ぎには終了し皆さん賞品や記念賞をもらい笑顔での解散となりました。
成績は、一般A優勝 本間さん、準優勝 田邊さん、一般B優勝 猪又さん、準優勝 佐々木さん、女子A優勝 長谷川さん、準優勝 古川さん、女子B優勝 平田さん、準優勝 川崎さんでした。
参加された皆さん大変お疲れ様でした。
(保健体育部)

卒寿を迎えて 風間 淳一
昭和十年生まれの私は、昭和平成令和を生きて九十歳です。
農家の長男として、新制中学校を卒業すると、翌日から土運びをして、農業に従事したことを思い出します。すべてが手作業であり「百姓」と言われて居た農作業はキビシイものであったと思ひ出します。
地域青年会があり、青年大会と言う陸上競技大会に、八百メートル・千五百メートルを走った事を思い出します。
今、卒寿を迎えて思うことは、若いとき友達に支えられて、友達と頑張って良かったと言ひ思ひ「感謝」の一言です。
現在私は、膝が痛くて杖を使って歩いて居ります。今、私は元気です。家族の皆に感謝です。
コミ協の会長を務めさせて頂いたときは、時の副会長さん始め役員職員の皆様は大変お世話になったことは、忘れるものではありません。
孫五人曾孫五人を指居りて卒寿を刻む老い吾たのし。
皆様の健康を祈念申し上げます。



笠原祥太郎選手

昨年台湾でプレーする予定でしたが、肩を怪我してしまいました。思うようにプレーできずに直ぐにクビになってしまいました。声を掛けて頂いたオアシックス新潟アルビレックスベースボールクラブでも満足の結果を残すことが出来ませんでした。なので、今年はいっかり活躍して地元である新潟の野球を活性化させ、1番の目標であるNPB復帰を目指して頑張りたいと思います。



「荻川子ども食堂」開催

不定期で開催しています、荻川子ども食堂ですが、11月16日(土)、久々の開催にもかかわらず、154名もの参加者がありました。ご家族連れの方々、年代はさまざまです。
この度も中学生3名、高校生1名を含むボランティア計26名で運営いたしました。
新津本町の三村歯科医師をお迎えして、口腔ケアの仕方や歯ブラシの使い方の講話をお願いしました。熱心に耳を傾けてくださった大人の方。小学生や小さい子どもさん達には少し難しい内容だったと思いますが、大人の耳に届けば、子どもにも伝わって行くことを期待しての話でした。
お帰りの際には、新潟歯科医師会よりの歯ブラシのおみやげもありました。いつものバルーン読み聞かせ、折り紙もあり、皆さんには楽しんで頂けたことと思います。



「地域と学校の連携」等について話し合い 荻川地域福祉推進連絡会議

11月21日荻川コミセンで荻川地域福祉推進連絡会議を開催し、「学校と地域の連携」、「高齢者等の見守り」について意見交換、協議を行いました。
「学校と地域の連携」では、連携の現状や連携に向けた対応、児童生徒の地域活動への参加、中学校部活動の地域移行についての課題等について活発な話し合いが行われました。また、「高齢者等の見守り」については、「おきかわあったかネット」はじめ荻川で取り組まれている幅広い見守り活動について意見交換しました。会議には、荻川地区協議会、民生委員、コミ協の各三役、小中学校3校校長、老人クラブ会長、秋葉区社会福祉協議会荻川担当職員が出席しました。
(荻川地区社協)



二中大より ひとつ屋根の下で地域とともに

新津第三中学校 校長 貝塚 敦

十月十三日に、三年生を対象にした「主権者教育」を実施しました。これは、新潟市の主権者教育推進プログラムを活用した取組です。

当日は、十人の新潟市議会議員の皆さんに來校していただき、生徒代表が議長市長質問者の議員役を演じての模擬市議会ロールプレイング。続いて、二クラスずつ三グループに分かれて、生徒からの様々な質問に議員の皆さんから回答していただく意見交換会、という内容でした。

この取組の目的は、近い将来に選挙権が与えられる中学生に、政治や選挙を身近なものとして興味関心を高くもってもらいたいということ。もう一つは、益々一人一人の価値観やものの考え方が多様化する時代において、正解が一つに定まらない問題に対する「合意形成」「意思決定」の方法やプロセスを学んでほしいということでした。

さて、話は変わりますが、中学校では令和八年度から、部活動の地域移行、地域連携が全国的に本格展開と平日の勤務時間内のみに限られるという、教育界にとってはまさに大転換期と捉えています。

現在、学校は様々な実態把握や情報収集に努め、また競技によっては具体的な動きを少しずつ進めています。ただ、今尚多くの課題を抱え、クリアしなければならぬハードルは少なくありません。今後の学校部活動の全体像や各部単位の活動のあり方や見直しについて、随時外部への発信に努め、皆さんと協働、連携し知恵を絞りながら、価値ある部活動改革を推進していきたいと考えています。

その過程で重要な不可欠なことが、様々な人間や組織間の「合意形成」「意思決定」だと強く認識しています。

特に、今後の子どもたちのスポーツ・文化活動等が、個人の満足や部の人間のみのもので終わらず、地域の子どもたちすべてのための持続可能な形として世の中に定着するかが重要です。そのための鍵となるのが、学校の応援団としての地域の力です。部活動改革をはじめとする中学校の教育活動に対して、地域の皆さんのさらなるご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。たいへん僥越ではありますが、それもまた主権者である我々すべてのおとなの責務であると思います。

生涯学習講座 6年度の後期が始まる

10月26日(土)、令和6年度後期の生涯学習講座が始まりました。

「石油で栄えた新津の近代」というタイトルで入江清次氏から講義を頂きました。新津は昔から鉄道の街であり、その鉄道の役割・使命感等が新津が発展した様子がわかりました。新津駅では、主要な発送貨物の1位から4位が石油関係で占められていたそうです。

今後11月16日「ギター般若心経」吉原東支氏、12月14日「かしく使おう公共交通」新潟市都市交通政策課様、1月18日「災害から自分や家族を守るために」秋葉区地域総務課様、2月15日「DNAが決め私たちの運命」梨本正之氏、3月8日「葛屋重三郎と江戸の出版界」金森敦子氏と計画されています。

是非、興味をお持ちの方は、生涯学習部に「いきいき塾の秋季(黒姫高原コスモスと小布施町歩き日帰り旅行)」

9月17日(火)曇り空の天候でしたが、「女子：29名(男子：9名)計：38名」の参加にて、萩川コミセンを午前8時00分に出発して、10時30分頃最初の見学先「黒姫高原コスモス園」を殆ど参加者が片道をリフト(コスモステラリア)が一面広がるフラワ

ガーデンを空中から一望見渡せるに乗り、帰りは徒歩でコスモス園を参加者全員が庭園のすばらしさに満足して見学することが出来ました。黒姫高原コスモス園を後に、バスは昼食場所の「信州フルーツランド」で大変美味しい昼食「牛鍋御前(栗おこわ付)」を参加者全員が頂き出発時間まで「フルーツショッピング」して午後1時15分頃小布施「栗と北斎と花の町」を自由散策しました。好天候ではなかったが、曇り空天候の旅行でした。帰りの車内では「全員で懐メロ」を楽しみながら、午後5時10分頃に萩川コミセンに着きました。



「ご存じですか」緊急情報キット



萩川コミ協では、75歳以上の高齢者に「緊急情報キット」を配布しています。

「緊急情報キット」は、高齢者が一人であるときに急病などで救護が必要になったときに、素早く救護措置ができることを目的としています。「緊急情報キット」の中には高齢者の「持病」、「かかりつけ医」、「緊急連絡先」などを記載した情報用紙を入れておきます。

お問い合わせは 萩川コミセン(電話241-5776)までお願いします。

男の料理教室開催

11月17日(日)に男の料理教室を開催しました。メニューは「サーモンとアボカドのカプレーゼ」「れんこんのはさみ揚げ油淋鶏だれ」「柿の生ハム巻き」の三品を作りました。

レシピを生懸命に見る姿も真剣そのものです。食材を余すことなく使い切り完成しました。出来上がりの品は、自画自賛で言うことはありません。美味しく頂きました。

11月17日(日)環境整備部13名による、コミセン構内冬囲い作業が行われました。

これからの降雪に備えてコミセン構内の樹木等の冬囲い作業です。昨年実施した竹やよし等の留め方などを写真で確認し、思い出しながらの作業となりましたが何とか完成させることが出来ました。

最後に電線や電柱に支障となつている枝の伐採も行いました。(環境整備部)



萩川駅ギャラリー清掃活動

令和6年11月9日(土)に萩川駅ギャラリーの清掃を行いました。

ギャラリーは萩川駅連絡通路にあり、写真、俳句、川柳などの作品が展示されています。萩川駅ご利用の際は是非ご鑑賞ください。(文化教養部)

ふれあい昼食会 中野連合町内会 五年ぶりにふれあい昼食会を実施しました。今年七十歳以上の一人暮らしの皆様を対象にしました。町内会・親和会・民生児童委員で手分けして進めました。

対象者は多数おりましたが結果的には十二名の参加者でした。役員を含めて総勢二十名で十月十四日(木)弥彦温泉・さくら湯で実施しました。

昼食前にお風呂に入り昼食会では久しぶりの再会で話もアルコールも弾み楽しいひと時でした。帰りには近くの国道の駅で買い物を楽しんで無事ご自宅へ戻られました。



新津第三分団・四分団 秋季消防演習

毎年恒例の新津第三分団四分団の消防演習が令和6年度も十月三日(日)にグラウンドコングレ

ション不良の為体育館で実施その後、中川造船所協の河原で放水を実施しました。



“いきいき塾にこここ体操教室”会員募集

1. 代表 野村 和子
2. 会費 月額500円
3. 講師 渋谷百合子先生
4. 実施日 毎2・4週金曜日
5. 時間 午前10時～11時30分
6. 場所 荻川コミセン 分館2階 会議室
7. 活動内容



- (1)マット・やわらかボールを使い、有酸素運動と筋肉トレーニングをします。
 - (2)健康増進・認知症予防を兼ねて体操をします。
8. 連絡先 野村 和子 090-5573-7942
“皆さん連絡お待ちしております。”

みそら野町内秋祭り

2024年10月26日秋晴れの空の下、みそら野公園にて「みそら野秋祭り」が行われました。2019年8月を最後にコロナの影響により休止していましたが、今回約5年振りに開催する運びとなり多くの方が参加して下さいました。輪投げやスーパーボールすくいなどのゲームコーナーで遊んだり、防災コーナーで実際に体験してみたり、キッチンカーから美味しいものを買って食べたり、ジャンケン大会とくじ引き大会はみんなドキドキしながら楽しく盛り上がりました。特に中学生に担当して頂いたストラックアウトのゲームコーナーは子供たちに大人気でした。ボランティアで終始活躍して下さいました全ての皆様に感謝いたします。小さい子どもたちからは、みそら野祭りは今回が初めてという声もありました。子供の時にお祭りで楽しんだ経験は、大人になってからも記憶に残るほどかけがえのない思い出になる事が多いかと思えます。今年のお祭りが、子供時代の思い出のうちの1つになったら嬉しいです。



“木曜ひろば、が活躍の場

結小学校では“ひな・お宝めぐり、でボランティアさんの協力のもと、子どもたちが今年も素敵につし飾りを作成しました。日頃“木曜ひろば、でパズルや折り紙をしている子どもたちなので、たくさん参加してくれました。

毎週木曜日のお昼休みが“木曜ひろば、の日です。いつでもどなたでも結小学校においでください。お待ちしております。



今年の干支は乙巳(きのとみ)ということで、再生復活の年になるように願っています。

2025年は国民5人に1人が後期高齢者(75歳以上)の超高齢化社会を迎えることで雇用、医療、福祉などの分野でも深刻な問題を抱え、海外の戦争、不安の影響による物価上昇も決して無視できない程に家計を圧迫して疲弊していますが、巳(へび)の干支はお金に困らないとも言われていますので経済的にも好転する年になる事を期待します。

(覚路津 渡辺)

荻川地区は比較的、自然災害の少ない地域ですが、油断は禁物です。常日頃から災害に備えることが大切です。

昨年は私も自治会の防災訓練に初めて参加させていただきました。

新潟市でも西区を中心に液状化現象による店舗、家屋、駐車場、道路など被害があり、江南区は凹凸が大きくなり大幅に減速しないと通れない道路、秋葉区では灯籠が倒れた神社があったと聞きました。

荻川地区は比較的、自然災害の少ない地域ですが、油断は禁物です。常日頃から災害に備えることが大切です。

昨年は私も自治会の防災訓練に初めて参加させていただきました。

お知らせ・情報・会員募集コーナー

.....荻川交番だより.....

1月10日は「110番の日」

110番通報は、事件・事故など警察官にすぐに来てほしい場合に利用する緊急通報専用電話です。令和5年中の総受理件数は14万3千件を超え、一日平均約400件となっています。

しかし、全体の3割以上が誤発信やいたずら、相談などの緊急性のない通報が占めており、真に110番通報を必要とする方の妨げとなっています。

- 110番通報は「警察署」ではなく、「緊急本部通信指令室」につながります。警察署や交番・駐在所には転送できません。
 - 困りごと相談(事件事故に関する相談、パトロール要望等)は、警察相談専用電話「#9110」、もしくは警察署へ。
 - 間違っって110番にかけてしまった場合は、間違っったことを警察官に伝えて指示に従ってください。
- 何も告げずすぐに切断すると、事件・事故を確認するために警察から、再度折り返しや警察官を派遣することがあります。

○事件・事故等緊急を要する場合は110番通報!!
～伝えていただきたいポイント～

- ・何が、いつ、どこであったか?
- ・犯人は?(人数・特徴・逃げた方向など)
- ・今どうですか?(盗まれたものは?けがは?)
- ・あなたの住所・氏名・電話番号は?

110番通報の正しい利用をお願いします。

秋葉警察署 0250-23-0110



荻川わんわんパトロール隊 発足にむけて

地域の安全は、いつも課題です。私たちは葛塚地区で活動している「わんわんパトロール隊」の活動を知り、ぜひここ荻川でも活動してみたいと思いました。そして来年度から本格的に活動できるよう有志が集まり準備をしています。

葛塚地区の「わんパト隊」からは普段している犬の散歩が、腕章等を付けて行うことで防犯パトロールになり犯罪を未然に防止できることや時間も場所もそれぞれだからこそ活動範囲が広がることを教えていただきました。

不審者や空巣、そして災害時など緊急事態には先ず地域での協力が重要です。そのために日頃から子ども達も含め近所の方々とのコミュニケーションが大切です。すれ違う時に挨拶や会釈するだけでも気持ち良いです。「わんパト隊」は犬を飼っている人なら誰でもできるボランティアになるはずで。

11月9日に「愛犬と楽しく暮らすためのわんわんセミナー」をコミセンで行いました。犬の訓練士の今井先生をお呼びして犬とのかかわり方を、とても分かりやすく説明いただきました。今後とも犬を飼っている人にとってになるような企画をしていきたいです。

ぜひ、来年度本格的に活動を始める「荻川わんわんパトロール隊」をどうぞよろしくをお願いします。

(「荻川わんわんパトロール隊」準備委員会)

編集後記

「広報 おぎかわ」
話題・情報提供のお願い

総務部では読みやすく、より皆様に親しまれる広報作りを心掛けています。

町内会行事など身近な話題、耳寄りな情報やイラスト、写真など気軽に下記へお寄せください。

◆提供先 コミ協事務局 (総務・広報部)
TEL 24-5776